

令和2年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	36	学校名	静岡県立静岡東高等学校	記載者	副校長 長谷川祥吾
------	----	-----	-------------	-----	-----------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア 授業改善と学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の授業参観年3回以上 100% ・「授業を通して学力や技能の向上が実感できた」と答える生徒の割合全科目で70%以上 ・教員の教科指導セミナー参加者人数5人以上 ・教員による先進校訪問4人以上 ・1・2年家庭学習時間平日1日平均2時間以上 ・1・2年11月進研模試偏差値平均55以上 ・大学入学共通テスト平均点全国平均+5%以上 ・3年予備校DVD講座参加者数30人程度 ・学習支援プラットフォーム(Classi)の学習指導への活用 ・東陵セミナーにおける探究的学習プログラムの充実とパフォーマンス評価の開発 ・3年間を見通した進路指導計画の確立 ・eポートフォリオによる活動履歴蓄積の推進 ・新教育課程の確立 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊な状況の中で先生方が努力したことに敬意を表す。 ・目の前の事象への対応が最優先されるのは当然である。世の中が落ち着いてきた段階で新しい授業展開を検討してもらいたい。 ・長期休暇などにオンラインでの課題配信、小テストなどを加えてはどうか。 ・家庭学習時間の確保など課題になっている項目もあるが、授業改善と学力向上に対して熱心に取り組んでいる姿勢が見られた。 ・教員の外部セミナー受講や生徒のDVD講座など、より効果的な学習ができるような努力がなされており今後成果も出ることが想像できるが、今は、ICTなどにより手法としての学習法が進化している。その研究や生徒への活用も取り組んでももらいたい。 ・授業で学力や技能の向上が実感できた生徒が70%以上と回答したことはすごい。 ・休校中教員がICTの利用研修やClassi利用による活動履歴を蓄積、体制を構築したことはよかった。 ・平日の家庭学習時間が目標未達で残念である。特に2年のクラス格差の改善を期待したい。 ・予備校等の授業も研究すると面白い。
イ 志の育成と進路目標への挑戦	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア講演会・大学模擬授業生徒満足度各90%以上 ・大学訪問生徒各自の目標達成率100% ・東大訪問参加者数満足度90%以上 ・大学入学共通テスト5教科型受験率80%以上 ・ハイレベル模試受験者数学年各30人以上 ・国公立大学現役合格者数卒業生の50%程度 ・難関国公立大学（※4）合格者数10人以上 ・県内国公立大学合格者数50人以上 ・難関私立大学（※5）合格者数90人以上 ・「専門教養講座」の単位取得生徒数10人以上 ・生徒個人面談回数5回以上 ・静岡大学実験実習講座参加者数20人以上、満足度90%以上 ・修学旅行生徒満足度各コース90%以上 ・各種留学プログラムやスピーチコンテスト、外部プレゼン大会に参加する生徒20人以上 ・留学生交流会の実施 ・エンパワーメントプログラム参加者数30人以上、満足度90%以上 ・英語外部検定CEFRB1レベル80人以上、A2レベル500人以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は手探り状態の中で生徒の思いに寄り添った対応を考えてもらえた。 ・今年度の試行の中からより効果的な教育と支援を考えてもらいたい。 ・修学旅行の満足度や外部活動への取組など、努力が感じられた。 ・本年度は大学訪問などでできず残念だった。 ・高校生では大学から将来へ続くキャリアデザインを想像するのは難しい。社会で活躍しているひとのはなしや実社会の現状、仕組みなどを教え、進学と将来とがリンクして、志を持てるような工夫をしてあげたい。 ・オンラインでの台湾交流や、留学生との交流で活発な質疑がなされた。SDGsのテーマ設定も良かった。 ・修学旅行が国内へと変更されたが、生徒満足度が高かった点が何よりだった。 ・プログラミングコンテストでの最優秀賞獲得は後輩への大きな刺激になる。 ・生徒一人ひとりが自身の将来を考え、新rを選択できたらよい。

様式第5号

ウ	<p>自主自律の精神と豊かな人間性の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻生徒数1日平均全校で5人以下 東陵祭生徒満足度80% 「自ら進んで挨拶をしている」と答える生徒90% 各部活動の目標達成率80% 最終下校時間19:30の遵守 「高校生活指導プログラム」による系統的な初期指導とクラス目標づくりの実施 情報モラル講座の実施 情報モラル関連の生徒指導0件 文化教室生徒満足度80%以上 ビブリオバトルの実施 図書館の貸出本冊数5,000冊以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 特に図書館の活動状況に感心した。 図書の出冊数にも反映されているとおり、生徒たちはこの非常事態の中で自分自身を見つめる時間を持ったのではないかと。 東高スタイルは明らかに定着している。今後の発展に期待したい。 規則正しく生活をする素晴らしいベースができていると思われる。また、指導もできていると思われる。 SNSなどの問題が起きず、思いやりを持ったITの使用など、モラルの高さも見られ、素晴らしい。 豊かな人間性の育成のための何かの施策を具体的に計画できたらもっと良い。 東陵祭や多くの部活動の大会が中止となり残念だったが、1,2年生が大会に参加でき、頑張ったことはよかった。 情報モラル講座でスマートフォンやSNS上のトラブルにつき外部講師の話を聞く機会が良い企画だった。 図書の貸し出し冊数ひとり平均月間1冊以上というのは、在宅時間の有効活用といえる。 文字情報を正確に把握し、理解できるようになることはこれからより一層必要である。そのために読書は最高の教材であると考えられる。
エ	<p>命を守る教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 重大な生徒交通事故件数0件 保健便りによる健康指導回数15回以上 集団を対象とした保健教育の回数3回以上 グループエンカウンター(1年生)の実施 セラ・プラスの実施と活用全学年 1分間カウンセリング(1年生)の実施 地域防災訓練への生徒参加率80%以上 一斉メール配信を活用した安否確認訓練の実施 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 重大な交通事故がゼロ件だったのは良かった。 感染症対策やオンラインの普及に伴う心的影響など未知の部分について情報収集に努め、引き続き尽力してほしい。 感染症対策を中心としたきめ細やかな取り組みが見られた。 本年は、様々な角度から命を守る教育が必要となった。 感染症やその他の事柄においても正確な知識を持てるようにしてほしい。 保健だよりによる健康指導を年間35回実施。セクハラ・おいせつ、コンプラや教職の使命などに重点をおき推進した。 コロナ対策で生徒、家族の予防等学校独自の対応を発信してはどうか。
オ	<p>広報活動の充実と教育環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> 土曜公開授業の参加者数計1,600人以上 土曜公開授業外部評価満足度90%以上 土曜公開授業での校内美化点検の実施 HPのタイムリーな情報発信と週2回以上の更新 HPにおける各部活動の活動報告学期1回以上 事務室窓口へのクレーム件数0件 月1回の安全点検の実施 ごみ処理費前年比減 「信頼できる先生がいる」と答える生徒80%以上 学年主任連絡会の実施3回以上 一分掌一業務改善の実施 校務分掌・部活動の統廃合による校務の整理 学習支援プラットフォーム(Classi)のアンケート機能を活用した校務の効率化 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒と教員、学校との信頼関係が良好であることは、必ず地域、受検生に伝わっていく。 生徒の活動を学校側から発信していけるように、HPを充実させるなど、更なる工夫が可能である。 HPや新聞記事による活動が多く見られた。特に新聞掲載の多さは取組の成果のひとつだと感じた。 情報化社会における学校からの発信については評価できる。 魅力的で入りたい学校になることにより、良い方向に向かう力が増していくと思う。 信頼できる先生がいるなど、清掃なども含め、ハード、ソフト両面からの整備ができ、更に高めてもらいたい。 土曜公開授業は実参加者も多く、満足度も良好であった。 HPによるタイムリーな発信が多く、部活動報告も活発化した。 安全点検、ごみ削減効果も出ており、校務文書等の見直しや、ICT活用による校務の効率化・効率化を進めてほしい。 卒業生へのアンケート実施といったアプローチを考えてほしい。